

花時計

No.12

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel.04-7183-0111(代) Fax.04-7183-0115
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>



大学の未来

副学長 川端香男里



Kaori Kawabata

21世紀を迎えても一向に明るい展望が開けてきません。人はみなそのことを歎きますが、このような事態を招いたのが他ならぬ日本人であったということを、あまり反省していないように思われます。

高度成長神話のバブルに躍らされて、軽薄で物事をじっくり考えないいわゆる「脳天気」な雰囲気世が覆いました。日本の未来を支えるべき教育の場の荒廃にも目を覆う惨状に至るところに見られます。

学力の低下もどん底に来ているのに「ゆとり教育」という方針が打ち出される始末です。文科省の英文ホームページによると、ゆとり教育とは「a liberal, flexible and comfortable school life」だそうです、これは何も言っていないのに等しく、脳天気な話であります。

このような状況で数々の改革の段取りをつけて下さった元木健先生の後を受けて副学長に任

命されましたが、平成16年度に照準を合わせた諸改革を実行することが私に課せられた任務であります。

立教大学はリベラルアーツの立場に立つ「全学共通カリキュラム」という素晴らしい改革を成し遂げましたが、その改革記録の中に「建学の精神に戻って改革の方向が見えた」という一節がありました。

川村学園には女子教育についてのすばらしい建学の理念があります。21世紀は女性があらゆる領域で、社会においても家庭においてもかつて歴史に例をみないほどに重要な役割を果たす時代であります。このような展望に立って、川村学園女子大学は21世紀の潑刺とした女性の生き方を提示します。そのための教育・研究を中心にすえた新しい大学像を構築し、広く世に訴えたいと思っております。

新しい顔



倉智恒夫

Tsuneo Kurachi
人間文化学部学部長

比較文化論を担当していますが、出発点はフランス文学です。フランス政府の奨学金を受け、アルチュール・ランボー研究というテーマを掲げて19世紀末フランス文学を学びにパリ大学へ留学。パリ滞在中に5月革命（1967－68年）を体験。学生たちに占拠されたソルボンヌでサルトルやデュラスらのデバに紛れ込んだり、J. L. パローのオデオン座で「民衆演劇」の議論を立ち見したりという毎日でした。パリ市を麻痺させたジェネストがいくらか沈静化したときにランボーとヴェルレーヌらのベルギー遍走旅行を跡付ける旅に出かけ、ベルギー象徴派の洗礼を受けました。ベルギーはブリュッセルにEU（ヨーロッパ連合）の本部を持つ多言語多文化の国。爾來多文化主義がテーマです。



白坂 蕃

Shigeru Shirasaka
観光文化科学科科長

学部の学生の頃（1960年代）から、「観光」という現象に興味を持ち、とくにスキー場の立地とその周辺地域の発展について、フィールドワークをして論文を書いてきました。その後、視野を広げようと、1985年にマラヤ大学に留学し、中国南部を含む東南アジア山岳地域における焼畑や高原保養地（hill stations）の研究を手掛けました。これらに加えて、ここ4年ほどは、アルプス地域でスキー場の開発や農村の観光地化を眺めながら、現地の研究者もあまり調べていない羊の移牧を調査しています。

「人間はそのひとの持っている知識の量に対応する世界しかみえない」という恩師のことばを胸に、少なくとも年に40日は国内外を歩き回っています。



北原靖子

Yasuko Kitahara
心理学科助教授

発達心理学領域の担当をしています。高校から大学院まで、自分も永らく女子大学にて華やかな学生生活を過ごしておりました。ほぼ10年ぶりに、また多くの若い女性と接して、あらためて当時が思い出されます。

（ハナヤカ??? いや、実のところ……）
現在「発達心理学概論」の講義では、誕生から順次発達段階をたどっている最中で

す。これもまた、いろいろな思い出が呼び起こされます。未知／既知の比率が同程度の人生半ばともなると、少しゆとりも出て、そうした思い出をまた別な色合いの眼鏡でながめたりもします。

（ハナヤカじゃなかった？ でも実は……）
人間発達について学ぶことを通して、自分に潜む混沌をしっかりとらえ豊かに受けとめてゆきたいですね。どうぞよろしくお願いします。



松岡陽子

Yoko Matsuoka
心理学科助手

4月、意気揚々とキャンパスを歩いていて、激しくコケました……。しかも顔から……。嫁入り前に……。でもあれから1ヶ月が経ち、私の顔の傷は、新生活への妙な力みとともに、もうほとんど消えました。

私はこの3月まで早稲田大学大学院に在籍し、発達心理学を専攻してきました。卒業論文以降、『親密な二者関係の発達』について主に研究しています。当面は、特に青年や成人の恋愛、夫婦関係を取り上げ、その中の“絆”とでもいうべき要素を検討していきたいと考えています（調査への協力者、随時募集中！）。

出身は岡山、後樂園のすぐ近くです。好きな食べ物、俳優、歌手は、カレー、坂口憲二、スガシカオです。どうぞよろしくお願いします。



小林由紀

Yuki Kobayashi
心理学科助手

4月より心理学科助手として勤務している小林です。3月まで東京大学の大学院生でした。9年間男子校のようなところにいたので、女性が非常に多い環境はとても新鮮に感じられます。専門は認知心理学・実験心理学です。特に人間がさまざまな情報を処理する時に、記憶がどのような役割を果たしているのかを研究しています。

趣味は読書（ミステリーと時代小説が好き）、観劇（いろいろ）、デバ地下探索（怪しい食材・調味料を探すのが好き）です。自分の料理を食べるようになってから、健康になったのはいいのですが、体重も増えているのが悩みです。



浅井丈三
教務課



田中正明
庶務課



八田由美子
教務課



木原裕子
学生課



長谷部準子
教務課



大森深雪
情報コミュニケーション学科
学生研究室

教員の退任

英語英文学科	武 田 良 一（教授）
史学科	松 井 透（ 〃 ）
史学科	安 藤 隆 弘（ 〃 ）
心理学科	秦 野 悦 子（ 〃 ）
情報教育学科	篠 田 功（ 〃 ）
社会教育学科	元 木 健（ 〃 ）
社会教育学科	山 川 岩之助（ 〃 ）
幼児教育学科	西 村 和 子（ 〃 ） （川村幼稚園園長へ）
心理学科	谷 津 貴 久（助手）
心理学科	大森(山内)香奈（ 〃 ）



“クロスオーバー学習”ってどうするの

●●●FEATURE

学芸員資格の取得をめざして —「博物館実習」を履修する—

私が学芸員の資格を取ろうと決めた理由には、以前から博物館や美術館に興味を持っていたことが挙げられます。また、学芸員は仕事をしながら見聞を広げられる職業でもあるということに魅力を感じているからです。そして、実際にどういった仕事をしているのか学びたいと思い、勉強していくことに決めました。

現在、学内実習の講義に出席しています。普段はなかなか体験する機会のない拓本をとったり、掛け軸の取り扱い方を勉強しています。仕上げるまでの行程には集中力を必要とする大変な作業もありますが、私にとっては全てが新鮮で興味深いものとなっています。また、私が入っているクラス（班）というのは、英語英文学科である私も含めていろいろな学科の学生で構成されています。そのため、他学科の学生と親しになれる機会を得られたことに対しても、とても嬉しく思っています。学内実習は、和やかな雰囲気の中で行われているので楽しく感じることも多いのですが、夏にはまだ館務実習という大切な実習が控えています。単に学芸員資格を取得するだけでなく、これからの1年間が充実したものになるように頑張っていきたいと思っています。

高梨 恵（英語英文科4年）



BOOK

内部告発の時代

花伝社 2002年
宮本一子 著

内部告発者の保護法を制定している国は少ない。不正を正し、違法防止の有効な一つの手段としている。公益のために組織への忠誠を乗り越えた、個人の責任を問う大きな文化的変革であるという潮流を紹介した。

（生活環境学科専任講師 宮本一子）

スクールカウンセラーをめざして

5月の下旬に母校の中学校で教育実習を行いました。この実習を通し、私は教師という仕事の大変さや教えるということの難しさを感じることができたと思います。

そもそも私が教職課程を履修したのは、将来スクールカウンセラーになりたいと考えていたことがきっかけでした。スクールカウンセラーになるには教師の仕事というものも知っていたほうが良いと思い、履修することに決めました。しかし、教職課程は思っていたよりも厳しいものでした。必要単位数が多いため、毎日が忙しく、大変でした。友人が帰るのを見送ってから5時限目の授業に出席したり、大量のレポートに追われたりと、私にとっては辛いことばかりでした。そういうことが嫌になり、履修するのをやめようかと何度も思いました。

しかし、教育実習を終えた今、私は教職課程を履修してよかったと心から思っています。それは、教育実習でしか得られない様々なものを得ることができたからです。また、大変と感じた分、辛いと思った分、



とても充実した大学生活が送れたと思えるようになったからです。

私は、これらの貴重な経験や気持ちを大切にしていきたいと思います。そして、これらを今後、生かしていけるようにがんばっていきたいと思います。

親見佐知子（心理学科4年）

他学部を受講して

今年度も昨年度と同数の8科目を他学部で履修している。昨年度は8科目全部文学部の科目だったが、今年度は7科目が人間文化学部の科目だ。私は社会人入学の編入生なので自分の必要取得単位数も多いのだが、学習意欲は年齢と共に衰えるどころかますます高まってきていて、他学部にまでその関心を広げている。これも当大学の「クロスオーバー学習」システムのおかげだと感謝している。

このまま順調にいけば、卒業時の取得単位は200を超える。多ければいいというものでもないだろうが、私にとっては一つの目標になっている。週4日、朝8時半から夕方6時半まで学校にいて、その日の課題はなるべくその日のうちに済ませている。家に戻ればどつと家事が待ちうけていて、持ち帰る訳にはいかないのだ。

他学部受講によって大きなメリットがあった。それはより多くのすばらしい教授と仲間に出会えたことである。人生で一番大切なこと、それは人との出会いであると感じる私にとって、このことの意味するものはとても深いのである。

岡田カツヨ（社会教育学科4年）

教育学部 情報コミュニケーション学科スタート

平成14年度から情報コミュニケーション学科がスタートしました。

21世紀の社会では、あらゆるオフィスでインターネットが活用されるようになるでしょう。また日常生活でも、ノートパソコン、デジタルカメラ、携帯電話、電子手帳などのモバイル機器が不可欠なものとなるでしょう。

情報コミュニケーション学科は、21世紀の高度情報ネットワーク社会に対応した感性豊かなメディア・コミュニケーションのできるエキスパートの育成をめざしています。

情報コミュニケーション学科の特徴は、次の通りです。

1. メディア・コミュニケーションの実践力を養成します。

メディアの「特性理解」や「選択利用」についての知識や技術の取得だけでなく、メディアの「構成・制作」を通じてメディア・コミュニケーションの実践力を身につ

けます。

2. 人間の心理や人間関係についても学習できます。

電話によるコミュニケーションなど、メディア・コミュニケーションの背景にある人間と人間のコミュニケーションのメカニズムについても学習します。

3. 学生一人ひとりの学習ニーズを大切にします。

コンピューターやインターネットの学習では、初心者から経験者まで学習者のニーズに対応できるように豊富な選択科目があります。

4. さまざまな情報技術の資格が取得できます。

高等学校「情報」1種免許の取得ができます。また基礎的なワープロ検定やパソコン検定から、上級の情報処理技術者、システム・アドミニストレーターなどの資格取得について支援します。

さよなら・こんにちは

平成13年度学位記授与式

3月21日 目白キャンパス大講堂にて



平成13年度謝恩会

3月22日 帝国ホテルにて



平成14年度入学式

4月1日 目白キャンパス大講堂にて



英語英文学科

国立西洋美術館にてプラド美術館展を鑑賞後、上野精養軒で食事会を行った。



史学科

江戸東京博物館を見学



日本文化学科

佐倉市の歴史博物館を見学



観光文化学科

栃木県益子市で陶芸体験



オリエンテーションレポート

●●● ORIENTATION

心理学科

柏駅近くのクレストホテルでフランス料理のフルコースをとりながら新入生同志、また新入生と教員が親睦を深めた。

社会教育学科

江戸崎農業公園ポティロンの森にてパン作り



情報コミュニケーション学科

当学科は、昨年まではバスを利用して大学近辺の千葉県や茨城県の博物館や美術館などを見学していたが、今年度は柏駅近くのホテルでの食事会形式でオリエンテーションを行った。

はじめ新入学生は到着時に決められたテーブル番号の席に座り、友達を作ると共に教職員と親睦を深めるため、食事を自由にとりながら、7～8名程度で各自自分の出身地や出身校など自己紹介をした。一巡後、新たにテーブル番号をくじで引きなおし、新しいグループで自己紹介をしたが、特に学生同士が携帯電話を取り出し電話番号やメールアドレスを交換していたことが印象的であった。そして最後に各教員が過去の体験談などを交えて話し、和やかな雰囲気となった。

幼児教育学科

上野動物園を見学した後、昼食は上野精養軒でフランス料理の食事会を行った。



生活環境学科

キャンパスに桜の若木を記念植樹



本学の蔵書を我孫子市民にも

去る4月17日に我孫子市民図書館と本学図書館とが、相互協定を結びました。

この協定によって、我孫子市民が市民図書館で、大学の資料を閲覧できると同時に、学生も郷土史関連の文献など、市民図書館の資料を大学で閲覧することができるようになりました。大学の蔵書は、図書館のホームページの中の蔵書目録（OPAC）で検索ができますので、自宅からでもアクセス可能です。市民図書館の連絡車を利用して、5月1日より実施しています。

（川村学園女子大学図書館）



六華会表彰

六華会奨学生に対する奨学金の授与式が、5月15日学長室に於いて行われました。

「成績・素行共に優秀である」次の12名の学生が学科から推薦され、副学長・学部長・学科長立ち会いのもとに、学長川村澄子先生から賞状と奨学金が授与されました。英・久地岡佐枝子、山崎真琴、史・潮田彰子、永松亜希子、心・秋葉千春、猿渡由美、情・加藤有理、廣瀬梨佳、社・岩崎舞子、林典子、幼・羽鳥照美、堀十茂子



財団法人 六華会

「公益法人として社会に貢献することと共に、学園設立の根本精神を、永く後世に伝えて、その業績を存続せしめ、併せて学園の事業の振興助成をはかり、ますます学園の基礎を固くして、学園の永遠の発展のために協力する団体」として、昭和27年9月に設立されました。

「六華」とは雪の結晶の意味ですが、創立者川村文子先生が、設立に協力した六人のお子さまに因んだものでもあります。

サークル活動報告

ゴルフ部

「平成14年度関東女子大学春季A B C D Eブロック対抗戦」においてCブロック優勝！



平成13年度就職状況

●内定状況

平成13年度は、産業界が全般的に好調な滑り出しで、景気の回復が期待されたが、中期に入ってから、半導体不況が各業界に影響を及ぼし、前年同様、就職活動者にとっては相変わらずの厳しい就職戦線であった。

このような厳しい情勢の中でも、積極的に就職活動に取り組む学生が多く、結果的に平成13年度の本学卒業生の就職内定状況は、94.3%（前年度95.8%）であり、女子大生に厳しい就職状況の中でまずまずの内定状況であった。

本学就職課では「自分の進路は自らの判断で」をモットーに学生指導をしているが、最近、4年次生になって「どんな職業が自分に向いているのか」について悩んでいる学生が散見されることから、就職課スタッフは、就職活動中の学生が自分の能力・適性に合った企業を選択できるように個別指導に重点を置いている。

どんな雇用情勢になろうとも、企業が新卒社員に期待することは、粘り強く前向きな人、常に自社の発展を考え努力する人である。幸いにして、企業訪問の際、本学出身の社員は「明るく素直である」との評価をいただく機会が多い。この良さを大切にして、今後とも教職員が連携しながら、学生の就職支援を強化していきたい。

●卒業生の主な就職先（平成13年度）

〈製造業〉伊藤園、イトキン、チャコット、なとり、日産自動車、日本食研、前川製作所、三菱電線工業、レンゴー、ワコール 他
〈金融・保険業〉常陽銀行、つくば銀行、三菱東京フィナンシャルグループ、東日本銀行、三井住友銀行、茨城県信用組合、王子信用金庫、結城信用金庫、あさひカード、新光証券、日興コーディアルグループ、野村證券、みずほインベスターズ証券、日本興亜損害保険、三井住友海上火災保険、富国生命保険、三井生命保険 他
〈建設・不動産業〉川鉄シビル、住友不動産販売、清水ハウス、大和ハウス工業、レオパレス21 他

国際トランポリン大会出場(オーストラリア) 社会教育学科2年 堀江香奈子

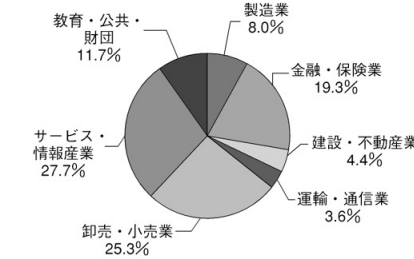
第35回東日本学生トランポリン競技選手権大会において個人競技Aクラス3位入賞



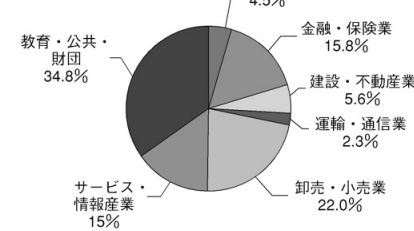
〈運輸・通信業〉ジェイティービートラベランド、ジャルフロンティア、東海トラベルビューロー、日航貨物ターミナル、日本エアシステム 他
〈卸売・小売業〉アカギ、イトーキ、ウライ、大塚家具、カネボウ化粧品東京販売、サンエー・インターナショナル、シャノアール、スターバックスコーヒージャパン、住商パイブアンドスチール、ファイブフォックス、丸井、明治屋、友和、レリアン、ロッテリア 他
〈サービス・情報産業〉カワイ体育教室、住友商事フィナンシャルマネジメント、セコム、ダイヤモンド・データサービス、富士通デバイス、芙蓉リース販売、三菱化学ピーシーエル、明治記念館、コンピューターサイエンス、日本ビジネスコンピュータ 他
〈教育・公共・財団〉東京福祉商経専門学校、四谷大塚、旭市役所、石岡市役所、佐久市役所、千代田町役場、松之山町役場、三沢市役所、千葉県立西部図書館、新潟県立分水高等学校、特別養護老人ホーム愛松園、筑波メディカルセンター、根岸病院、目白病院、浦安市立幼稚園、柏幼稚園、上平井幼稚園、蔵前幼稚園、台東区立幼稚園、福島市立幼稚園 他

●業種別就職状況

文学部



教育学部



※幼児教育学科については、例年、幼稚園教諭を希望する学生が多く、そのほとんどが幼稚園に就職しています。
※なお、人間文化学部については、平成12年に新設したため、就職実績はありません。

常磐線沿線の美術館、博物館めぐり

今回は、常磐線の基点である上野駅界隈を紹介しましょう。

“上野の山”といえど動物園、博物館、美術館、お花見、西郷隆盛の銅像、大噴水、不忍池、寛永寺、東照宮、東京芸大などが思い浮かびます。この地区は日本の中で最もミュージアムが数多く、周辺の根津や谷中に足をのばせば小規模ながら魅力あふれる美術館にも出会えます。

まず初めに薦めるのは東京国立博物館（A）です。ここには本館（飛鳥時代～昭和時代の日本美術）、東洋館（中国、韓国、インド、エジプト、インドネシア等の美術）、表慶館（大正天皇の御成婚記念として建造した洋風建築）、法隆寺館、特別企画展を開催する平成館（1階には、以前に表慶館で展示していた埴輪や銅鐸などの考古遺物を常設）、資料館などがあります。

ところで、西側の国際子ども絵本館前の通用門から入る資料館には、日本美術に関する文献資料が12万冊、映像（写真）資料が26万枚もあり、複写もOK。研究が目的であれば、誰でも無料で入場し利用することが可能です。

INFORMATION

入学試験・オープンキャンパス等日程

平成14年

4月13日(土) キャンパス見学会

6月15日(土) 進学相談会

29日(土) 第1回オープンキャンパス

7月2日(火) 大学院特別選抜入学試験

7月3日(水) 編入学〔指定校〕入学試験

7月29日(月) 第2回オープンキャンパス

8月26日(月) 第3回オープンキャンパス

9月14日(土) 第4回オープンキャンパス

10月5日(土) 大学院秋季入学試験

編入学〔Ⅰ期〕入学試験

10月19日(土) 進学相談会（学園祭）

20日(日) 進学相談会（学園祭）

11月8日(金) 指定校推薦・公募推薦入学試験

編入学〔Ⅱ期〕入学試験

12月7日(土) 第5回オープンキャンパス

平成15年

2月1日(土) 一般Ⅰ期入学試験

編入学〔Ⅲ期〕入学試験

2月17日(月) 大学院春季入学試験

2月21日(金) 一般Ⅱ期入学試験

編入学〔Ⅳ期〕入学試験

◆大学入試センター試験利用入学試験、AO入学試験及び卒業生子女推薦入学試験等につきましては、入試広報課へお問い合わせください。

電話 04-7183-0114

Eメール nyuushi@kgwu.ac.jp

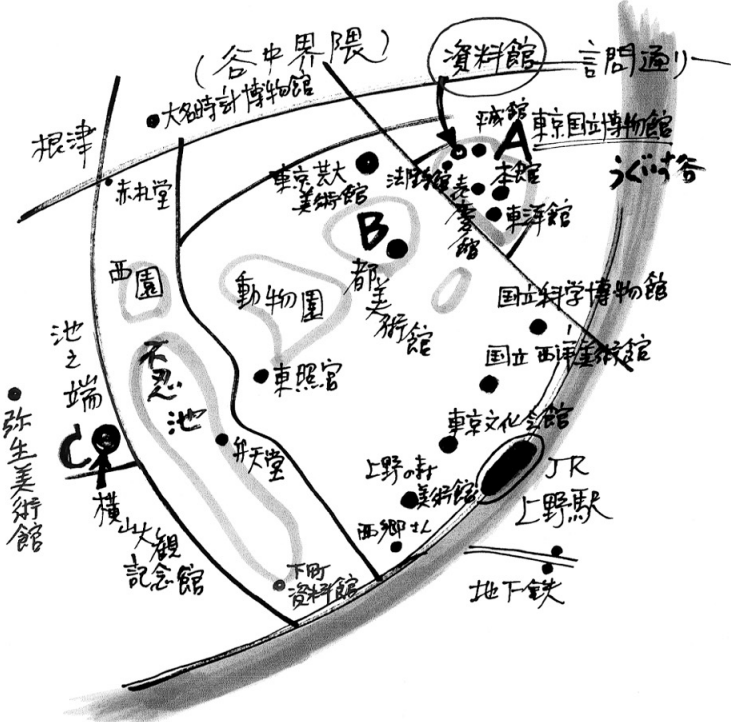
なお、本館の地下には今流行のミュージアム・ショップがあり、美術専門図書はもちろん、日本の国宝などの美術品のレプリカやそれらをもとにつくられた洒落たデザイン衣装、文房具等を展示即売しています。

次に、上野動物園に隣接する東京都美術館（B）は、年間を通じてさまざまな展覧会が開催されています。特に秋になると、伝統ある日本画の院展や洋画・写真の二科

展の公募展を皮切りに、独立展、行動展、新制作、日展などの他に五美術大学展もあり、上野の山はおおいに賑わいをみせます。この他に都美術館では世界の美術を厳選して、特別企画展がしばしば開催されています。

お薦めのスポットは、不忍池近くの横山大観記念館（C）です。数々の名作が生まれた画室のある小さな日本画の美術館です。

なお、展覧会情報は「ぴあ」を薦めます。（荻原延元 幼児教育学科助教授）



平成14年度レディースアカデミー講座

本講座は、子どもたちの地域活動やボランティア活動等を実践していくリーダーとして必要な知識や技術を、「地域づくりやまちづくり」を基本にしながら総合的に学ぶ

ことを目的としたもので、子どもの地域活動のリーダー及びこれから活動したいと考えている高校生以上の男女を対象に実施している。

期 日	演 題	講 演 者
10月12日（土）	子どもの実態と教育活動	社会教育学科教授 齋藤哲郎
10月19日（土）	青少年団体・グループの理解	国立少年自然の家理事長 松下俱子
10月26日（土）	地域活動のプログラムの実践	社会教育学科教授 望月厚志
11月 2日（土）		元東京都足立区教育長 佐々木一彦
11月 9日（土）	子どもの地域活動とまちづくり	我孫子市立生涯学習センター長 渥美省一
11月16日（土）		医務室勤務(看護婦) 山下千信
11月23日（土）	まちづくりの実践	実践Ⅰ 社会教育学科講師 藤原昌樹
11月30日（土）		実践Ⅱ 前四街道中学校校長 坂東浩司
12月14日（土）		実践Ⅲ 社会教育学科教授 齋藤哲郎

卒業生は今

●●● MAILBOX

川上 恵

大学院生涯学習専攻2002年修了



今年4月より、北区の渋沢史料館で学芸員として勤務しています。5年前、ルーブル美術館で出会ったエデュケーターに憧れ、来館者と展示を結ぶ学芸員という職業を選びました。学芸員は研究職で、来館者とは係わらず資料を読みふけているというイメージを持つ人が多いようです。でも、私の場合、行動派といえますか展示室を歩き回り、来館者と話をします。それが、実に楽しいのです。読者の皆さんよろしければ、どうぞお立ち寄り下さい。そして、楽しい会話をしてみませんか。心よりお待ちしております。

藤井由美子

社会教育学科1999年卒



大学では、興味がなかったもので、教職課程は一切取らなかった。就職の希望順位は公共図書館、大学図書館、専門図書。

学校図書館、まして「キレル」「いじめ」等、話題独占の中学校図書館は視野になかった。しかし、小学校の学校図書館司書募集に応募したらなぜか中学校配属に。

いきがってみせる生徒、悩みを抱えた生徒、甘えてくる生徒。自分を受け入れてくれる場所を必死に探そうとする彼らを見て、私の中の「中学生」という虚像が壊れた。そして学校図書館司書は貸出、返却、読書案内以外にも大切な仕事があることを知った。無知を反省し、教育学の勉強を始めた。不精なうえ、勉強が苦手な私を動かした、中学生達のパワーってすごい。

東本愛香

心理学科1997年卒



私が卒業の頃は大学院がなく、小学校から通い入れた川村学園を離れ、現在通っている大学院を受験することとなりました。なにせ受験などしたことがなかった私は、本当に友人や先生方に支えられ乗り越えられたのだと思っています。その大学院での生活も、いつのまにか博士後期課程となった現在では、専門である幼児教育をはじめとする治療場面において、多くの人にお話しをする機会や、後輩の指導、学内外での授業なども担当させていただく機会も増えました。自分が人に何かを伝える、教えるという立場になり、人とかかわりの大切さ、ことばの大切さ、経験の大切さを思う日々です。いかなる場合でも、教わること、学ぶことがあふれています。それを教えて下さった先生方のように、私も何事にも興味関心をもちつつ、治療者として、指導者として、研究者としても、“あつみ”のある人、そして女性でありたいと思います。

鈴木絵理子

幼児教育学科1997年卒



大学を卒業して6年目を迎えました。卒業後は幼稚園教諭として5年間勤務してきましたが、子ども達と過ごす日々の中で「もう一度学びたい」「知識を深めたい」という思いが膨らみ、今年の4月より本大学の大学院で新たに勉強を始めました。社会経験後の学生生活は学部時代とは違い、自ら学ぶことの楽しさを感じる新鮮な毎日です。様々な年齢、社会経験のある同級生や先輩方、又先生方との交流は私の人生の中で大きな宝物となるでしょう。愛着ある母校に戻ってこれたのもうれしいです。

内田 直子

史学科2000年卒



私は今、会社の資料室に勤務している。規模は書籍・雑誌を合わせて、約8,000冊で、普通の図書館に比べるとかなり小さい方かと思う。しかし利用者の求めている本を探し、レファレンスの仕事はやはり大変である。企業の資料室ということで、専門的な内容を尋ねられる事もある。そのような時には大学で受けた講義を思い出しつつ、利用者と会話などをしたりして本を探していく。それらの過程の中では私自身、様々なことを教えられる。それと共に、利用者の希望をかなえることが出来た時、達成できた喜びもある。まだ尋ねられたら、素早く本を提供することは難しい。しかしこれからも、様々なことを学びながら、少しでも多くの利用者の要望に応えていきたい。

川島知美

英語英文学科1991年卒



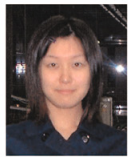
大学を1期生として卒業し、“接客業”に魅力を感じホテル業界に飛び込みました。最初はウエイトレスからブライダルアドバイザーなど“現場”を経験して、その後広報に異動となりました。現在は昨年開業した新規ホテルに移り、同じ広報・宣伝の仕事に携わっています。ホテルはファッションや車と同様、ブランドイメージが大切。私の仕事は立地条件や、空間のクオリティ、客層、ニーズなどを考慮しながら、お客様のホテルに対するイメージを“間接的”に確立していくことです。企画書を作成することも多々あり、大学時代に培った（苦しんだ！）レポートや卒論が文章で表現する際に役立っているように思います。今はマスコミや他ホテルの方々など違った面での交友関係も広がり、厳しいけれども楽しい毎日です。

社会人11年目、新人時代の頃と比べてだいぶゆとりも、出来てきました。今後は仕事だけではなく、もっと違った分野での経験も積んで、自分自身の幅を広げていきたいと思っています。

岩井紀弥

情報教育学科2001年卒

(現 情報コミュニケーション学科)



私は、情報教育学科を卒業してアコム株式会社就職しました。

現在、簡単な電話応対や窓口業務をしています。問い合わせに答えることが基本ですが、お客さまによって言葉を変えたりするなど難しいところもあります。大学で学んだコミュニケーションの大切さを実感しています。まだまだ窓口業務もうまくできませんが、早く先輩達と同じ業務ができるようになりたいと思っています。また、会社では端末を操作してお客さまの情報を得ますが、パソコンを使えたり、文字を早く打てるということはお客さまを待たせないことにつながります。大学で学んだことがとても役に立ったと思えました。

島田正亮

大学院心理学専攻2001年修了



私は現在、国立市の教育相談室に勤務しています。週5日の勤務のうち2日間はスクールカウンセラーの入っていない小学校に訪問教育相談に行っています。小学校では20分休み、昼休み、放課後に相談室を開けており、児童が気軽に来室できる雰囲気大切にしています。また、授業時間は保護者との面接や先生方との情報交換にあてています。教育相談室では集団不適応、LD、ADHD、アスペルガーなどのケースをもち、親担当と子ども担当に別れてお互いに連携をとりながら、そのケースにとって何が必要であるかを第一に考えるように心掛けています。まだ分からないことが多く試行錯誤していますが、少しでも力になれるように努力しながら毎日を過ごしています。

「卒業生は今」原稿募集のお知らせ

「花時計」は、大学での今をお伝えするために学内ばかりでなく、卒業生にもお送りさせていただいています。「卒業生は今」のコーナーでは、皆さんのひとこと（400字程度）をお待ちしています。卒業年と学科を必ずお書き添え下さい。採用分には大学の図書カードをさしあげます。

原稿宛先 川村学園女子大学広報委員会

編集後記

●広報委員会は、今大きく変わろうとしています。『花時計』もより魅力ある冊子へと変えていきたいと努力してみました。(K)

●初めての広報委員、記事を集めるのは大変でしたが、いい経験になりました。(Y・M)

●『花時計』の発行と共に大学の現況をお届けいたします。ご感想などお寄せ下さいませ。(M)

●編集に参画して3号目になりました。落ち着いた雰囲気が気に入っています。(T)

発行日/平成14年7月15日第12号発行

制作/川村学園女子大学広報委員会